

国重要無形
民俗文化財

八戸えんぶり

2/17(月)~20(木)

日程

要チケット・要入場料
※料金の記載がないものは無料

問八戸地方えんぶり保存振興会((一財)VISITはちのへ)
TEL 70-1110

2月	一斉摺り、御前えんぶり、えんぶり公演ほか			かがり火えんぶり (市庁本館前市民広場)	お庭えんぶり (更上閣)	史跡根城えんぶり (史跡根城の広場)	
	イベント	場所	時間・出演組・観覧料	時間・出演組	時間・出演組・定員・観覧料	時間・出演組	
17 月	奉納	長者山新羅神社	7:00	①18:00 福田上(ド) ②19:00 上組町(ド) ③20:00 妙(ド)	時間 ①17:00 ②19:15 ※各組25分程度 ※「どうさい」と「なが」の間に約5分間の休憩が入ります。 出演組 ▷17日月 田代(ド)・横町(ナ) ▷18日火 重地(ナ)・大久保(ド) ▷19日水 糜塚(ド)・中居林(ナ) ▷20日木 石堂(ナ)・研賛会(ド)		
	撮影会	長者山新羅神社	8:00~9:00 常番町(ド)・賣市(ナ)				
	行列待機	長者まつりんぐ広場					
	行列	鍛冶町出発	10:00				
	一斉摺り	市中心街	10:40~11:20				
	御前えんぶり	市庁前広場	12:15 八太郎(ド)				
	えんぶり公演	SG GROUP ホール はちのへ(公会堂)	観覧料(税込み) ▷通常料金 1,500円 ▷団体料金(20人から) 1,350円 ※中学生以下無料 問公会堂 TEL 44-7171 ①13:00 仲町(ド) ②14:00 子どもえんぶり (中居林小・青潮小) ③15:00 中居林(ナ)				
18 火	えんぶり公演	SG GROUP ホール はちのへ(公会堂)	観覧料(税込み) ▷通常料金 1,500円 ▷団体料金(20人から) 1,350円 ※中学生以下無料 問公会堂 TEL 44-7171 ①13:00 平内(ナ) ②14:00 子どもえんぶり (北稜中・白鷗小) ③15:00 内丸(ド)	①18:00 新組(ド) ②19:00 鳥屋部(ド) ③20:00 塩町(ド)	定員 各回100人	11:00 十一日町(ド)	
19 水	えんぶり 一般公開	市庁前広場	①13:00 賣市(ナ) ②14:00 八太郎(ド)	①18:00 荒谷(ド) ②19:00 妻神(ド) ③20:00 山道(ド)		11:00 横町(ナ)	
20 木	えんぶり 一般公開	市庁前広場	①13:00 石堂(ナ) ②14:00 常番町(ド)	①18:00 小中野(ド) ②19:00 日計(ド) ③20:00 内丸(ド)			

※(ナ)ながえんぶり (ド)どうさいえんぶり

南部会館 催し物

南部会館を無料開放しますので、休憩所や待ち合わせなど、
お気軽にご利用ください。

※詳しくは、南部会館にお問い合わせください。

問南部会館 TEL 43-9202

無料開放時間

2/17日~20木 10時~20時

日時	イベント
2/1土~24日	ロビー展「昔のえんぶり写真展」
2/17日~20木	無料開放 ※飲食持込自由
2/18火	三味線演奏会 出演 赤坂三絃会
2/20木	オカリナ演奏会 出演 ゆりの木

美術館 催し物

問美術館 TEL 45-8338 FAX 45-4531

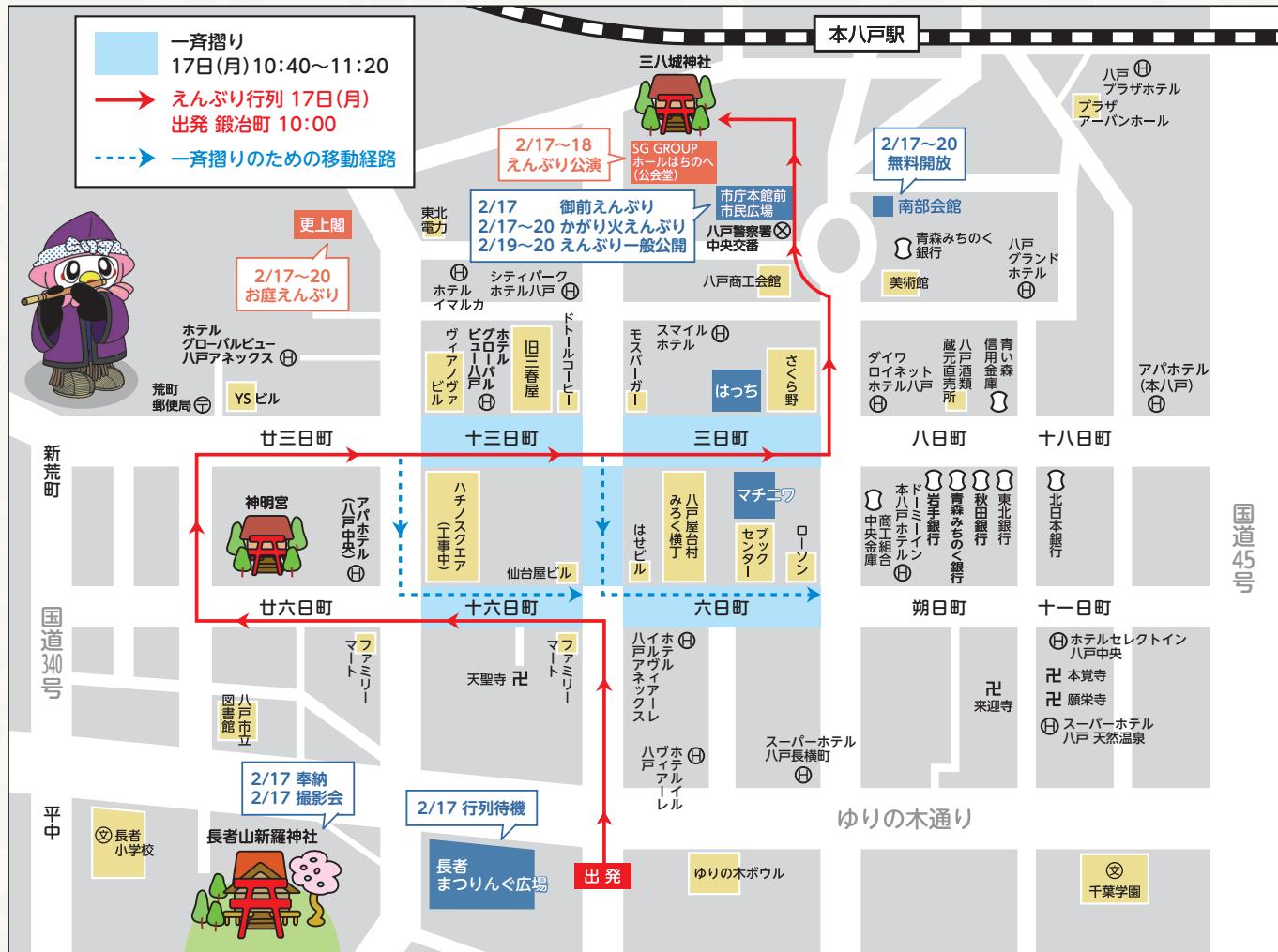
日時	イベント	内容
2/18火 13:30	八戸えんぶり in 美術館	櫛引上えんぶり組によるえんぶり公演





運行経路

悪天候などの影響により、日程が中止・変更となる場合があります。
詳しくはホームページをご覧ください。



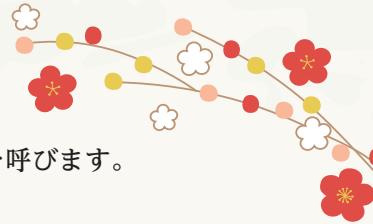
えんぶり in はっち 2025

問はっち ☎22-8228 E

日程	イベント	時間	場所	内容
2/15㈯～20㈰	えんぶりタペストリー・衣装展示	9:00～21:00	1階 はっちひろば	えんぶりに関するタペストリーやマチニワ公演に出演するえんぶり組の衣装を展示
2/17㈰	冬の八戸を元気においしいあったかイベント	10:30～なくなり次第終了	マチニワ	八戸せんべい汁と八戸ブイヤベースを販売 (八戸工業大学生提案イベント) 料金 せんべい汁 500円、ブイヤベース 800円
	えんぶりって何?/顔出しパネル/目指せえんぶりマスター	9:00～21:00	1階 ギャラリー1	八戸えんぶりの説明、顔出しパネルの設置、えんぶりに関するクイズを出題
	えんぶり着付け体験	10:00～15:00 ※17日は16:00まで (各日終了30分前まで受付)	1階 シアター1	太夫・祝福芸の衣装の着付け体験 参加費 300円
	えんぶりワークショップ	10:00～16:00	4階 リビング4	①画用紙でえぼしを作ろう! 参加費 300円 ※無くなり次第終了 ②コースターブル作り 参加費 880円
	えんぶり公演 in マチニワ	①12:00 ※17日は13:30 ②17:00	マチニワ	えんぶり公演を実施(30～40分程度) ※全て(ド) ①12:00 ②17:00 17日 名川中 ※13:30 八戸市庁郷土芸能保存会 18日 櫛引上 細越 19日 東十日市 日計 20日 新組 十一日町

豊穣を祈り、舞い、春を呼ぶ。

八戸で2月と言えばえんぶり。鳥帽子を被った太夫の摺りや子どもたちの祝福芸が、八戸に春を呼びます。開催に向けた意気込みなどを、内丸えんぶり組に伺いました。(6年11月取材)



固広報統計課 四43-9317

魂のバトンを次へつなぐ



内丸えんぶり組 代表
海野能邦さん

子どもの頃、父親がえんぶりに参加していたことから自身も始める。「伝統は無くせないけど、新しいものを取り入れていかないと続かない。若い組だからこそ、新しいことができるところも内丸えんぶり組の強みです。」

【内丸えんぶり組の特徴は?】

内丸えんぶり組は、令和7年で94年目になる比較的若い組です。どうさいえんぶりの中でも激しく速い摺りが魅力で、子どもたちの衣装が、他の組にはない黒を基調としているのも特徴ですね。

全組のうち6組しかない「取締えんぶり組」でもあるので、他の組の見本となるような、一体感のある舞を披露したいと考えています。また、かがり火えんぶり最終日に最後の「大トリ」を務めることができるので、みんなで気持ちを一つにしてそこに向かっていけばと思います。

【えんぶりを後世に伝えていくために】

結局、若い人たちが揃わないと、この先続けていくことができないんですよね。なので、若い人たちの意見は積極的に取り入れて、若い人たちがやりやすい環境を作るようにしています。

【ご自身にとって「えんぶり」とは?】

「魂のバトン」です。父やその前の世代がやってきたことを私が受け継ぎ、私は次の世代につないでいく。そうやってバトンを渡していくことが役割だと思っています。内丸のえんぶりが、これからも長く続いていくものになればいいなと思います。

えんぶりがあるから春が来る



内丸えんぶり組 太夫
木村学人さん

20代で太夫を務める、次世代の担い手。「実際に参加してみると、えんぶりの魅力がわかると思います。内丸えんぶり組はいろいろな地区から人が集まっているので、興味がある人はぜひ。」

【えんぶりに参加したきっかけは?】

家の近所の三八城公園で、内丸えんぶり組の人たちが花見をしているのを見て興味を持っていたところ、友達に誘われたからです。結構多くの知り合いが参加していたので、自分もやってみようと思い、おばあちゃんに連れて行ってもらいました。

【一番楽しい瞬間は?】

初日に長者山に登ったとき、一斉にお囃子が鳴れば「ああ、始まったな」と、体がぞわっとするような緊張感と興奮があります。見てくれている人たちが笑顔だったり、拍手してくれたりすると嬉しくなりますね。

【ご自身にとって「えんぶり」とは?】

えんぶりは、欠かせない伝統行事だと思っています。コロナ禍でえんぶりが開催できなかった時期はさみしいと思っていたので、「春を呼ぶ祭り」と言われるよう、私もえんぶりがないと春が来ない、と感じます。えんぶりをこれからもずっと続けていければと思います。



＼子どもたちが祝福芸を披露してくれました！／

